

8. あとがき

本資料では、職業訓練施設の指導員を対象とした情報ニーズ調査を行い、その分析を行った。その結果、関連の研修カリキュラムを検討するにあたって、留意すべき点がいくつか示唆された。今後は、民間企業を対象として、類似のアンケート調査を行い、興味の対象を抽出するとともに、その結果を本報と比較してみたい。

最後に、アンケートを作成するにあたり、いろいろご指導・ご協力くださった当大学校職業訓練研修研究センター・開発研究部・熊谷茂雄部長、北海道職業訓練短期大学校・阪堂宗孝副校長をはじめ、関係の方々に厚く御礼申し上げます。

注：調査I、II、IIIのいずれも、一つでも記入もれのある回答は、集計の対象からはずしている。無記入は、当該の用語の意味をあまりよく知らない、などが挙げられよう。その点において、表1(a)の回答要領では、5段階評価のほかに、「用語の意味をよく知らない」なる選択を許すことも考えられる。しかし、その判別にもかなり主観が伴うものと思われ、一方、同表にも示すとおり、「その単語自体が新鮮な響きを持つ」なども広義に「興味」に含めていることから、ここでは同表中の5段階評価にとどめた次第である。

文献

- (1) KITAGAKI I., TANIGUCHI Y. and SAKURAI S.(1990) : A Consciousness Survey on CAI and the Vocational Training, Educ.Technol. Res., 13,pp. 53 - 58
- (2) 戸田勝也 (1988) : 向上訓練における対話的授業の展開、職訓大職訓研セ、調査研究報告書第47号、昭和63年度
- (3) 北垣郁雄 (1989) : 近未来社会のための技術教養と教育工学研究について、日本教育工学雑誌、13、4、 p.159 - 164
- (4) 中村和男 (1990) : あいまい選好判断とその非推移性に関する研究、博士論文 (東京工業大学)、平成元年度